

公明党視察報告書

研修先・視察先	第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮
期 間	平成30年11月14日(水)・15日(木)
場 所	宇都宮市文化会館
テーマ	課題討議「議会と住民の関係について」
対応者 (講師)	コーディネーター 江藤 俊昭 氏「山梨学院大学大学院社会学研究科長・法学部教授」
概 要	
<p>◆目的◆</p> <p>3市の事例報告から、本市の「議会と住民の関係性について」、改善の方向性を見出すことができると捉え、実践化を目指す。</p> <p>◆事例報告者◆</p> <p>○桑田 鉄男 氏(久慈市議会副議長)</p> <p>○伊藤健太郎 氏 (新潟市議会議員 新潟市議会主催者教育推進プロジェクトチームリーダー)</p> <p>○ビアンキ アンソニー 氏 (犬山市議会議長)</p> <p>◆コーディネーター 江藤氏より◆</p> <p><議会改革の金字塔としての議会基本条例></p> <p><議会は「住民型の根幹」></p> <p><住民福祉の向上につなげるー議会からの政策リサイクル></p> <p>①住民との意見交換会(議会報告会)</p> <p>前の期の議会からの申し送りとともに、住民の意見を参考にして取り組む課題・調査研究の抽出。</p> <p>②一方では、それを踏まえて行政評価</p> <p>住民の意見を踏まえて行政評価を実施する。それによって決算審議・認定は充実し、それを予算要望につなげる。</p> <p>③他方では、住民の意見を踏まえて政策課題の抽出と調査研究、政策提言につなげる。</p> <p>④これらの2つの流れを束ねる総合計画</p> <p>総合計画を意識した活動を行う。議会は総合計画を所与のものではなく、変更可能なものとして考える。</p> <p>○住民を起点の意味は、会津若松市議会や飯田市議会のように、議会報告会・市民との意見交換会で提出された意見を政策課題とすることだけではなく、長野県飯綱町議会のように、議会側からテーマを設定して、それを住民と論議することを含んでいる。</p> <p>◆議論したい論点◆</p> <p>①今後の地域への評価、住民や議会の評価</p> <p>②こうした状況を踏まえた新たな議会のあり方、住民との関係</p> <p>③統一地方選挙を念頭に、地域民主主義の活性化に活用する手法。なり手不足問題について</p> <p>《久慈市議会の事例報告》</p>	

【議会報告会の失敗から逆転発想へ】

- ①参加者が集まらない ②参加者が年配男性に偏る ③特定の人だけが発言し、他の人が発言できない ④議会や行政に対する不満・陳情に終始する議会情報の問題
- ⑤会議の雰囲気が悪い（以上4点を踏まえて）
- ◎久慈地方の方言「かだって」①語る ②一緒にやる⇒市民と議会が協働する場を目指す働き盛り・子を持つ親世代の市民に
声なき声を語ってもらい 未来に向かってどんな町にしたいのか、課題は何なのか
市民と議会が垣根を超え、雰囲気よく一緒に話し合う場

《新潟市議会主権者教育推進プロジェクト》

【模擬市議会～合意形成のロールプレイング】

- 模擬市議会を体験することにより、市議会及び市議会議員の果たす役割を理解してもらおうとともに、正解がひとつに定まらない問題に対する合意形成・意思決定についても学んでもらう。
- ◎これまでの実績
平成28年度 ⇒4校 328名の児童・生徒に実施（延べ29名の議員が参加）
平成29年度 ⇒4校 225名の生徒に実施（延べ26名の議員が参加）
※原則として、閉会期間に各1校程度、年間4校程度を目途に実施
平成29年度のアンケートより ⇒ 19%から92%

《愛知県犬山市議会の場合》

【「市民参加」と議会機能向上】

- 権限の限り機能した議会へ
- ①議員間討議の促進の取り組み
- ②市民参加の仕組みと効果について
 - ・市民フリースピーチ ・女性議会 ・オープンドアポリシー ・市民との意見交換会
 - ・親子議場見学会 など
- 【成果】
 - ・市民に「参加すれば、実現できる」気持ちが芽生え、市民参加が活発になる。
 - ・市民意識の向上により、投票率低下、議員のなり手不足などの問題解決の糸口になる。

所 感

- ◎議員間の力をつけることにより、市民のための議会になっている。
- ◎大野城市議会では、初の試み、「中学生模擬議会」を実施した。しかし、特別委員会及び議会事務局の労力の割には、傍聴者は少なかった。
- 大野城市議が、市民参加型となるために、市民に寄り添って意見を聞く場を工夫する必要を特に感じた研修であった。犬山市議会報告会の「参加すれば、実現できる」といった、市民の要望に議会が答える政策実現が必須だと思った。今後特に研鑽をしていきたい。

— 作成者 大塚 みどり —

公明党視察報告書

視察先	日光市 近代化産業遺産・世界文化遺産活用事例視察
日 時	平成 30 年 11 月 15 日 午後 10:30～13:30
場 所	世界遺産 「日光の社寺」(日光東照宮)
テーマ	「歴史・文化財を活かし、大野城心のふるさと館活性への取り組み」
<p>概 要</p> <p>◆日光金谷ホテル◆ 「現存する日本最古のリゾートホテル」として長きにわたるその歴史的価値から登録有形文化在として登録されており、近代化産業遺産に認定されている。 館内には古き時代の趣を残す調度品がある。125 年の歴史があるホテルには、多くの外交官や知識人が訪れていた。</p> <p>◆世界遺産「日光の寺社」(日光東照宮) ◆ 日光東照宮、日光二荒山神社、日光山林王隣王寺の二社一寺の 103 棟の「建造物群」とこれらを取り巻く「遺跡(文化的景観)」が、1999 年(平成 11 年)12 月開催の世界遺産委員会において、登録が決定された。</p> <p>◆眠り猫◆ 眠り猫(ねむりねこ)は、日光東照宮の回廊にある建築装飾彫刻作品。 伝説的な彫刻職人左甚五郎の作品と伝承されている。日光東照宮の建物には、多様な動物の木彫像がみられることが多い。これらの動物のほとんどは平和を象徴している。</p> <p>◆三猿◆ 猿は、馬を病気から守るといわれている。8 面に 16 匹の猿の一生を描き、人生を物語っている。「見ざる・聞かざる・言わざる」の言い回しは有名である。</p> <p>◆家康の墓地◆ 眠り猫から 207 段先に「家康公の御墓所奥宮」がある。 ～坂下門～この門を潜り石段を約二百段登ると 家康公の御墓所奥宮がある～</p>	
<p>所 感</p> <p>○小中学校の次期学習指導要領「社会科」では、教科書の歴史用語が学術研究を踏まえて変更される。中学ではこれまで、日本に直接関わる事象を中心に世界史を扱っていた。しかし、高校で世界史と日本史を融合させた「歴史総合」が新設されるのを受け、間接的に影響した事象の学習を増やす。「世界を一体として捉えることで、世界史を自分たちの歴史と考える力をつけることがねらいである。こういったことから、これからの子どもは、自分が生まれ育ったふるさとの歴史・文化を身近に感じる必要があるのではないかと捉える。</p> <p>○世界遺産ということで、207 段を登りきる海外の観光客も多かった。本年「ふるさと大野城」をまるごと体感できる市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」が開設されたばかりである。歴史・こども・にぎわいをキーワードとし、「歴史・文化に興味を抱かせる館」となるように、今後研究していきたい。</p> <p style="text-align: right;">— 作成者 大塚みどり —</p>	